

説話文学会六〇周年記念大会「説話文学研究つぎの六〇年に向けて」 二〇二三年七月一日 於、早稲田大学

説話と絵画をめぐる研究の動向と展望

慶應義塾大学 恋田知子

◇はじめに

* 説話文学会編『説話から世界をどう解き明かすのか―説話文学会設立50周年記念シンポジウム「日本・韓国」の記録』笠間書院 二〇一三年

* 小峯和明監修・出口久徳編『シリーズ日本文学の展望を拓く(2) 絵画・イメージの回廊』笠間書院 二〇一七年(第1部 物語をつむぎだす絵画/第2部 社会をうつしだす絵画/第3部 (武)の神話と物語/第4部 絵画メディアの展開)

・ 出口久徳「総論―絵画・イメージの(読み)から拓かれる世界―」

・ 小峯和明「絵巻・(絵画物語)論」

◇近年の研究動向

1、仏教説話画 経典絵/寺社縁起絵/高僧伝絵

・ 和歌山県立博物館特別展示「道成寺と日高川―道成寺縁起と流域の宗教文化―」二〇一七年

* 佐久間秀範・近本謙介・本井牧子編『玄奘三蔵 新たななる玄奘像をもとめて』勉誠出版 二〇二二年

* 近本謙介編『ことば・ほとけ・図像の交響 法会・儀礼とアーカイヴ』勉誠出版 二〇二二年

2、一七世紀の絵入り本 奈良絵本・絵巻/屏風絵/版本

* 天理大学附属天理図書館編『新天理図書館善本叢書第四期 奈良絵本集』全八巻 八木書店 二〇一八年(二〇二二年)

・ 海の見える杜美術館特別展示「幸若舞曲と絵画 武将が愛した英雄たち」二〇一九年

* 小林健二編『絵解く戦国の芸能と絵画―描かれた語り物の世界―』三弥井書店 二〇二〇年

* 中根千絵・薄田大輔編『合戦図 描かれた(武)』勉誠出版 二〇二二年

* 中根千絵・森田貴之編『奈良絵本『太平記』の世界 永青文庫所蔵『絵入太平記』全挿絵影印ならびに『研究』勉誠出版 二〇二二年

3、非物語絵画 風俗図/景観図

* 岩永てるみ・阪野智啓・高岸輝・小島道裕編『月次祭礼図屏風』の復元と研究 よみがえる室町京都のかがやき』思文閣出版 二〇二〇年

・ 福岡市美術館「国宝鳥獣戯画と愛らしき日本の美術」二〇二二年

※二〇二二年春季大会シンポジウム「中世文学と絵画」『中世文学』六八 二〇二三年六月

◇現状の課題と展望

*『リポート笠間』六三、二〇一七年一月

特集1 日本文学研究と越境、学際化、国際化―二〇一七年の現在地

特集2 古典のひらきかた―まだまだ、あきらめない！

1、深化する領域融合・国際化

*井上泰至編『資料論がひらく軍記・合戦図の世界 理文融合型資料論と史学・文学の交差』勉誠出版
アジア遊学 二〇二一年

*島尾新・宇野瑞木・亀田和子編『和漢のコードと自然表象 十六、七世紀の日本を中心に』勉誠出版
アジア遊学二四六 二〇二〇年

*水野裕史編『儒教思想と絵画 東アジアの勸戒画』勉誠出版 アジア遊学二七一 二〇二二年

*国文学研究資料館編『絵が物語る日本―ニューヨークスペンサー・コレクションを訪ねて』三弥井書店
二〇一四年

*佐野みどり先生古稀記念論集刊行会編『造形のポエティカ 日本美術史を巡る新たな地平』青簡舎 二〇二一年

*阿部泰郎／阿部美香／近本謙介／レイチェル・サンダーズ／瀬谷愛／瀬谷貴之編『ハーバード美術館南無仏太子像の研究』中央公論美術出版

2、地域・社会にひらく

・国文学研究資料館〈連携展示〉「祈りと救いの中世」二〇一八年

・国文学研究資料館「時の束を披く 古典籍からうまれるアートと翻訳」二〇二一年

*松尾葦江編『ともに読む古典 中世文学編』笠間書院 二〇一七年

*荒木浩編『古典の未来学 Projecting Classicism』文学通信 二〇二〇年

*伊藤慎吾編『お伽草子超入門』勉誠出版 二〇二〇年

3、デジタルツールの活用と発展

*楊曉捷・小松和彦・荒木浩編『デジタル人文学のすすめ』勉誠出版 二〇一三年

・神奈川大学デジタルアーカイブ『絵引』原画データベース

・東京大学史料編纂所データベース「[画像をさぐる](#)」(歴史絵引DB・肖像情報DB)

・国立歴史民俗博物館 [洛中洛外図屏風「歴博甲本」](#)人物DB・[洛中洛外図屏風「歴博乙本」](#)人物DB

・国際日本文化研究センター [怪異・妖怪画像データベース](#)

・人文学オープンデータ共同センター [顔貌コレクション\(顔コレ\)](#)

・人文学オープンデータ共同センター [キュレーションツール IIF CuratorViewer](#)